

# 新 評 論

2018  
1・2  
No.280

発行所 © 新 評 論 2018年  
〒169-0051 新宿区西早稲田3-16-28  
TEL03-3202-7391 FAX03-3202-5832  
http://www.shinhyoron.co.jp  
e-mail: shrn@shinhyoron.co.jp  
振替 00160-1-113487 価格税抜



「モッコ取り」と呼ばれる作業を行う女沖仲仕たち。船底のダンブル（貨物置き場）に積まれた鉄鉱石をスコップですくい、モッコ（網状の運搬器具）に入れていく。

魂の作家が遺した唯一無二の記録!約150点の貴重な写真を中心に、港湾労働の実態と女たちの近代を鮮やかに描き出す

《写真記録》

## 関門港の女沖仲仕たち

近代北九州の一風景(仮題)

林えいだい

◆ジャンル:女性史/北九州史/日本近現代史

福岡県北九州市門司区、関門海峡を望む港に、かつて「女沖仲仕」ないし「女ごんぞう」と呼ばれる女性の港湾労働者たちがいた。本書は、昨秋惜しまれつつ世を去った福岡出身の記録作家・林えいだいが、一九七〇〜八〇年代にかけて彼女たちに取材した記録である。

機械化が急速に進みだす一九六〇年代まで、貨物船からの荷揚げと荷下ろしは人力に頼っていた。船底の荷を網にすくい入れて甲板に引き揚げ、海上の船へ移す。船中でこの一連の荷役を担うのが沖仲仕である（棧橋に着いた船から荷を陸揚げする人々は「陸仲仕」と呼ばれた）。

関門港の北九州側の門司や若松では、明治期から多くの女性が沖仲仕として働いていた。一八九五年、後日デンマークの婦人参政権運動の主導者となるヨハンネ・ミューンターは、門司で石炭荷役に従事する女沖仲仕の姿に男女平等の理想像を見た。一九六六年に来日したサルトルとボーヴォワールも、彼女らに会いに門司を訪れ、男と全く同じ仕事をこなす様子に「世界に類を見ない」と目をみはった。彼女らは男でも音を上げる苛酷な労働に耐え、筑豊炭田と北九州工業地帯の繁栄、ひいては戦後日本の高度経済成長を

下支えした。だが六〇年代以降の「エネルギー革命」と技術の進展にともない、やがてうちすてられていく。林が取材したのは、港から消え去る寸前の最後の「女ごんぞう」たちの姿である。心身を酷使し、時に瀕死の重傷を負いながらも、「沖での仕事が生きたい」と語る女たち。林はその強さと威厳、底抜けの明るさに圧倒され、シャッターを切り続けた。

「港はもう、彼女たちを呼んではいない」（林えいだい『海峡の女たち——関門港沖仲仕の社会史』華書房、一九八三年）。だが、職業意識に徹した誇りと自負、たくましさとお開的な笑顔は、林の手で永遠の命を与えられた。（編集部）

\*「沖仲仕」や「ごんぞう」は、現在では差別表現とみなされる場合があるが、本書では歴史的呼称として用いる。

ISBN978-4-7948-1086-1

2月末刊

菊並製 予一八〇頁 予二〇〇〇円

《写真記録》これが公害だ

（北九州市「青空がほしい」運動の軌跡）

二〇〇〇円

実録証言 大刀洗さくら弾機事件

（朝鮮人特攻隊員処刑の闇）

二五〇〇円

明治の国際人・石井筆子

（「デ・マーク」女性ヨハンネ・ミューンターとの交流）

二四〇〇円

著者 1933年福岡県香春町生まれ。記録作家。2017年9月1日没。『《写真記録》これが公害だ』など著書多数。戦争、朝鮮人強制連行、公害をめぐる埋もれた史実を掘り起こし続け、死の床でなお作品を書き継いだ。その壮絶な半生を描いたドキュメンタリー映画『抗い』が全国公開中。





2015年5月、名古屋市で開催された「世界フェアトレード・デーなごや2015」の様子。市を挙げての大規模なイベントは2010年から始まり、今年で9回目を迎える。

競争と対立を超えて、互いに認め合い共生する社会をめざす地域単位の運動を全国に!理論と先駆例を紹介する世界初の入門書。

# フェアトレードタウン

“誰も置き去りにしない”公正と共生のまちづくり

渡辺龍也 編

◆ジャンル:フェアトレード/まちづくり

フェア（公正）な取引や買い物をするこ  
とで、消費者が自身の生活や意識を変革  
するとともに、弱い立場におかれた生産  
者や労働者の人たちが人間らしい生活を  
送れるよう支援するフェアトレード。そ  
のフェアトレードを、地域（市区町村）  
の市民、商店・企業、行政・議会がごぞ  
って推進する「フェアトレードタウン運  
動」が、各地で静かな広がりを見せてい  
ます。

二〇〇〇年にイギリスの小さな町で産  
声を上げたこの運動は、世界各地へその  
輪を広げ、五大大陸三十一カ国に二〇〇〇を  
超えるフェアトレードタウンを誕生させ  
るまでになりました。日本でも、熊本市  
が二〇一一年に初のフェアトレードタウ  
ンとなったのに続いて、名古屋市、逗子  
市、浜松市が仲間入りを果たしています。  
運動は当初、発展途上国の零細な生産  
者や労働者の人たちが一日も早く自立で  
きるよう、「まちぐるみ」でフェアトレー  
ド製品を積極的に購入することに焦点を  
絞っていました。ですが近年は、フェア  
トレード以外の「倫理的消費」も推奨し  
たり、地産地消を推進したりと、その幅  
を広げています。

日本の運動はさらに、足元の社会にも  
目を向けて、誰もが居場所を持ち、生き  
生きと暮らすことのできる「公正と共生

のまち」にしていこうと、環境、福祉、  
人権など、さまざまな分野の市民活動・  
運動との連携を推し進めています。

自由競争を至上の価値とする「グロー  
バリゼーション」が世界を覆いはじめて  
三〇年余。この間、経済格差もグローバ  
ルに広がり、不安に満ちた生活を強いら  
れる人々が増えていて、それが「自国第  
一主義」や、他者に対する不寛容な差別  
的言動を蔓延させていると言われます。

先進国、途上国を問わず、グローバリ  
ゼーションによって社会の片隅に追いや  
られた人々が、排他的なリーダー達の企  
図に翻弄され、互いに競争し対立するの  
ではなく、互いに認め合い共生してい  
く—そうした「誰も置き去りにしない社会」  
を築き上げていく運動が、今ほど必要と  
されている時代はありません。フェアト  
レード運動は、その力強い一翼となるは  
ずです。

さあ、あなたのまちもフェアトレード  
タウンをめざしませんか？

（わたなべ・たつや）

ISBN978-4-7948-1085-4 2月下旬刊  
四六並製 予二九六頁 予二五〇〇円

刊 フェアトレード学

評 (私たちが創る新経済秩序)  
好 渡辺龍也

三三〇〇円

編者 NHK、国際機関、国際協力NGOを経て、2000年より東京経済大学教員（国際開発協力、NPO論）。日本フェアトレード・フォーラム理事、日本エシカル推進協議会理事。主な著書：『フェアトレード学』（新評論）、『考えよう！やってみよう！フェアトレード』（彩流社）他。



2004年初版以来、教員を中心に多くの読者を得てきた良質な教育書の待望の最新版にこの1冊で教え方・授業の進め方が画期的に変わる!

増補版

# 「考える力」は こうしてつける

ジェニ・ウィルソン+レスリー・ウィング・ジャン  
吉田新一郎 訳

◆ジャンル:教育

本書は二〇〇四年に初版が刊行されて以来、ありがたいことに多くの読者を得ました。今回増補版を出すにあたって、まずは初版時から愛読してくれている先生の感想をご紹介します。

今日もあの本を読んでいた。冬休みに勉強会をする予定なので、その準備のためです。もう何度もうりかえ

し読み、手垢で薄汚れてきました。そのつど貼った付箋もボロボロです。ジャーナルとカンファランスの手法、逆さまデザイン、ルーブリック…あれもこれもやりたくなってきました。特にジャーナルとカンファランスは、教員に必須の技能ですね。

この本が出たときのインパクトはすごいものでありました。「いままで自分が求めていた教え方・授業の進め方の方向性が示されている!」と歓喜しました。教員生活二年目に「仮説実験授業」を試し、その後、左巻健男先生の本を読み、キャリア教育に力を入れ、「モラル・ジェンマ授業」を道徳で試し、と、いろいろやってきました。どれも何かが抜けている感覚がありました。それを教えてくれたのが本書です。

「質問を考える」「メタ認知」「ウェブ図などの思考ツール」「振り返り」などが欠けていました。この本で学んだことを日々実践し、振り返り、改良して実践し…ということを知りかえして今日まで来た感じです。それに参考文献が丁寧に紹介されているので、この本一冊読むと他の多くの良

書とふれあうこともできます。近年は、若手にこの本を紹介しながらアドバイスをするが増えました。

見事に本書を使いこなしてくれていて、嬉しいかぎりです。実践を踏まえた経験談が、本書の最良の紹介ともなると考え、ここに引用させてもらいました。今回、「訳者による解説」を加えて増補版とする過程で、私自身もこの本の中で紹介されている方法や内容を、過去一四年間追いつけてきたのだということに、改めて気づかされました。

(よしだ・しんいちろう)

ISBN 978-4-7948-1087-8 2月刊

A5並製 一二四頁 予二〇〇〇円

ライティング・ワークシヨップ  
「書く」ことが好きになる教え方・学び方  
R・ラレッツ・チャー・J・ポーター  
小坂敦子・吉田新一郎 訳 一七〇〇円

リーディング・ワークシヨップ  
「読む」ことが好きになる教え方・学び方  
L・カルキンス・吉田新一郎・小坂敦子 編訳 二二〇〇円

好評刊  
作家の時間  
「書く」ことが好きになる教え方・学び方【実践編】  
プロジェクト・ワークシヨップ 編著 一九〇〇円

読書家の時間  
「自立的な読み手」を育てる教え方・学び方【実践編】  
プロジェクト・ワークシヨップ 編著 二〇〇〇円

増補版「読む力」はこうしてつける  
吉田新一郎 二〇〇〇円

著者 Jeni WILSON メルボルン大学教育学部で教鞭をとりながら、小学校等で教員研修を数多く行っている。著書多数。Lesley WING JAN 長年小学校の教師と私立の初等・中等学校の副校長を務めた後、約5年前に夫と過ごす時間を増やしたいと早期退職。



## 絶対平和論

菊地昌実

〔日本は戦ってはならない〕

明治維新以来の日本の歩みから

「現実的知性」のありかを考える。

四六並製 二四二頁 一五〇〇円



## 非戦・対話・NGO

大橋正明・谷山博史・宇井志緒利編  
金敬然・中村純乃・野川未央

〔国境を越え、世代を受け継ぐ私たちの歩み〕 NGO非戦ネット

の有志12人による「生の証言集」。

A5並製 三二〇頁 二六〇〇円



## 福島後のエネルギー転換

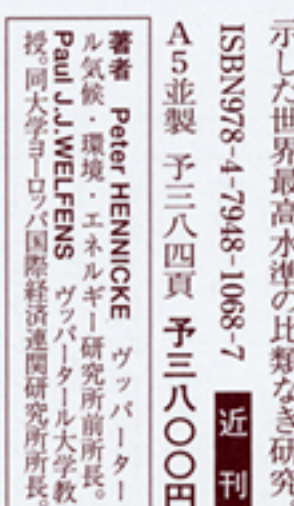
P・J・J・ヴェルフェンス / 壽福眞美訳

〔ドイツは特殊な道が、それとも世界の模範か〕

3・11福島第一核電事故の教訓を総合的に検証し、地球規模の「エネルギー転換」の現実的道筋を示した世界最高水準の比類なき研究。

ISBN978-4-7948-1068-7 近刊

A5並製 予三八四頁 予三八〇〇円



## 写真記録「これが公害だ」

林えいだい

〔北九州市「青空がほしい」運動の軌跡〕反骨の記録作家の原点であり、公害闘争史の発端をなす運動の全貌。

A5並製 一九二頁 二〇〇〇円



## 新しい力

共同通信社編

〔「私たちが社会を変える」 社会の閉塞感をうち破る50の物語。共同通信の人気連載企画が一冊の本に！〕

四六並製 三二〇頁 二四〇〇円



## 現代社会用語集

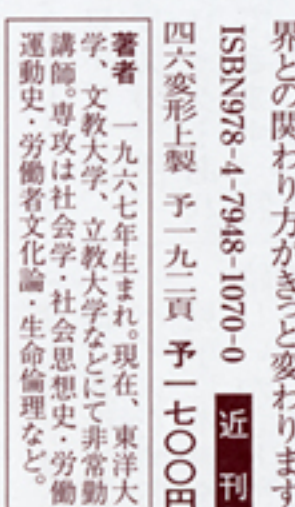
入江公康

学生に大人気の講義が本になった！ 博学多識の社会学者がおくる、

「あたりまえ」を問いかえす「概念の武器」としての決定版レキシコン。世界との関わり方がきつと変わります。

ISBN978-4-7948-1070-0 近刊

A5変形上製 予一九二頁 予一七〇〇円



## やっぱり滋賀が好き

児玉征志

〔心の観音を求めて〕

「滋賀好き」読者待望の、「びわ湖検定」でよみがえる」続編！

四六並製 一三三頁 一八〇〇円



## 飯田線ものがたり

太田朋子・神川靖子

〔川村力ネトがつないだレールに乗って〕 祝！全線開通80周年。秘境駅をつなぐレールに伝えたい物語があった。

四六並製 二八〇頁 二〇〇〇円





# ハイン地の果ての祭典

アン・チャップマン／大川豪司訳

〔南米フエゴ諸島先住民セルクナムの生と死〕 稀有な身体彩色で名高い通過儀礼を詳説。写真50点。

A5上製 二八〇頁 三〇〇〇円

『朝日新聞』他書評

ISBN978-4-7948-1067-0



# 植民地化の歴史

マルク・フエロー／片桐 祐訳

〔征服から独立まで（一三〜二〇世紀）

数百年におよぶ「近代の裏面史」から、現在の収奪構造を読み解く。

A5上製 六四〇頁 六五〇〇円

『新潟日報』紹介

ISBN978-4-7948-1054-0



# 「学びの責任」は誰にあるのか

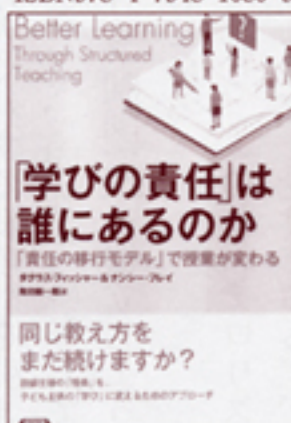
NDフィッシュヤー & 吉田新一郎訳

〔「責任の移行モデル」で授業が変わる〕 生徒の学びの「質」と「量」が飛躍的に伸びる四つの要素を紹介。

四六並製 二八八頁 二二〇〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-1080-9



# 増補版「読む力」はこうしてつける

吉田新一郎

優れた読み手のスキルを徹底解剖し、その伝授法を指南するロングセラー、待望の新版。

A5並製 二二〇頁 二〇〇〇円

最新刊

ISBN978-4-7948-1083-0



# 職業は忍者

野人流忍術主宰・甚川浩志

〔激動の現代を生き抜く術、日本にあり！〕 アニメやアクションにはない現代版忍術教育が日本と世界を変える！

四六並製 一二四頁 二〇〇〇円

『日刊ゲンダイ』紹介

ISBN978-4-7948-1076-2



# 小説写真甲子園 0.5秒の夏

菅原浩志案／榎辺 勲著

ひと夏のフォト・グラフィティ。『日本一の写真部』をめざす高校生たちの成長ストーリー。映画公開中

四六並製 一二四頁 一六〇〇円

『月刊CAPA』紹介

ISBN978-4-7948-1078-6



# 「地方創生」時代の中小都市の挑戦

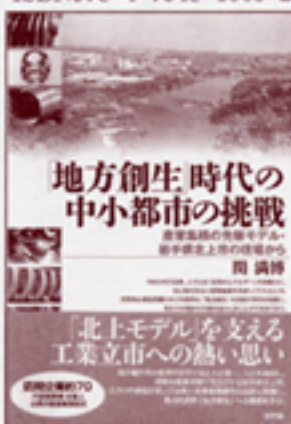
関 満博

〔産業集積の先駆モデル・岩手県北上市の現場から〕 真の内発的「地方創生」の鍵。「北上モデル」のすべて。

A5上製 四二〇頁 六〇〇〇円

『岩手日日新聞』紹介

ISBN978-4-7948-1063-2



# 地域産業の「現場」を行く

関 満博

〔第10集 新たなステージに向かう〕 全国130市町村を踏査した渾身の实地調査記録、堂々の完結。

四六並製 二四〇頁 二四〇〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-1082-3





ジル・ケペル&アントワーヌ・ジャルダン／義江真木子訳

# 『グローバル・ジハードのパラダイム』——パリを襲ったテロの起源

## 仏イスラム専門家による「聖戦」の実態

■評者 山内昌之（明治大学研究・知財戦略機構国際総合研究所特任教授／東京大学名誉教授）

『週刊ポスト』2017年10月27日号

2015年はパリの「シャルリー・エブド」誌編集部が襲われ、サン・ドニのサッカー場で自爆事件が起きるなど、フランスにジハードイズムが根を下ろした年でもある。著者たちは、現代イスラムと投票行動の専門家として、大都市郊外の低所得者団地で移民系住民が増え続けるシテと呼ばれる地区に注目する。IS（イスラム国）は、このシテを中東のジハード（聖戦）と結びつけて、欧州でのテロを誘発させたというのだ。ISは、フランスの住民を出自に関わらず無差別に標的

とする「祝福された襲撃」を繰り返した。ISは、移民系の住民を犠牲にしようともお構いなしであり、欧州の「柔らかな脇腹」の西欧で「万人の万人に対する戦争」を引き起こして、内戦を誘発して「カリフ制国家」を樹立しようとしている。ただし、この若いテロリストらは教育を受けておらず、知的水準はあまりにも低い。彼らは、欧米のイスラム嫌いから生まれた犠牲者のムスリムをジハードイストとして獲得できるという幻想に浸っている。

こうした若者が生まれたのは、ポストコロニアル時代の移民子弟としてフランスで生まれた世代が、社会や制度との暴力的な衝突を辞さなかったからだ。その挙句に、移民子弟の若者といえは暴力の常習者と見なされる悪循環が始まった。彼らが選挙権をもった当初は、二〇一二年のオランド大統領当選のように、サルコジへの反発が強かった。いまでは、同性愛禁止やスカーフ着用などを目指すムスリムは、世俗主義のオランドたちにも寛容で

なくなった。

このムスリムの若者は、社会的帰属意識からすれば左派に近いが、民族・宗教上の主張に従えば右派に接近するという屈折した構図をもち、フランス政治ではジレンマの状態にある。そのギャップを暴力的に埋めようという動機こそフランスにグローバル・ジハードを生み出したともいえる。現代のジハードイズムにおける宗教とイデオロギーと暴力それと戦争との接点をさぐる好著である。

四六並製 四一六頁 三六〇〇円

ISBN978-4-7948-1073-1



ウェブ時代のテロはいかに生成されるか  
グローバル・ジハードのイデオロギーとは何か  
イスラム主義研究の第一人者ケペルとジャルダンの対談をもとに、  
国内外のジャーナリストと対談した著者が、イデオロギーと暴力の接点に迫る。



## 本を売る

## 記録作家・林えいだいさんのこと

筑前町立大刀洗平和記念館（福岡県朝倉郡）は、かつて東洋一と謳われた旧陸軍大刀洗飛行場跡地に建つ施設である。年間10万人を超える来館者をお迎えしている。受付横に本を並べた小さな書棚がある。お客様は見学が目的なので、売れ行きがよい訳ではないが、ここから本を手にとって立ち読みして行かれる方は少なくない。

展示に対応する形で、太平洋戦争の戦況について書かれた単行本が多いが、その中に福岡県田川市出身の作家である林えいだいさんの著書がある。「陸軍特攻・振武寮——生還者の収容施設」「大刀洗さくら弾機事件——朝鮮人特攻隊員処刑の闇」などである。一般受けはしないが、興味がある人にとっては、たまらない本である。

3年ほど前のこと。えいだいさんは初めて会った私に、自分のこと、取材のこと等いろいろと話してくれた。語り口は熱く、話が面白くて聞き入った。率直で偉ぶったところがなく、一遍で好きにな

った。彼は若い頃、某新聞社で記事を書いていた時期があった。報酬もよく、毎晩のように飲んで、家に帰るタクシー代も会社持ち。ある日、旧知の友人から、「お前の記事は面白くなくなった」と言われ、新聞社を辞めてフリーの作家になったのだという。取材の交通費や宿泊費も全部自腹を切って払わなくてはならず、きつかった。でも、あれで自分自身と自分の書くものに芯が入った、という話は好きで、時々思い出しでは自分生活を入れてみる。

「名もなき民衆の声なき声を、しかと歴史にとどめていくことが、僕自身の生きていく証しなのかも知れない」という言葉のとおり、えいだいさんの視線の先にはいつも社会的弱者の姿があった。

「もっと書きたいけど……、もういかんですよ」。亡くなる2週間前にお会いしたのが最後になった。林えいだい氏、平成29年9月1日逝去。

心の中に生き続ける大切な人となった。

筑前町立大刀洗平和記念館 寺原裕明

本誌表示価格はすべて税抜です。

## 書評日誌(2017.9.14~11.19)

## ●書評 ●紹介 ●関連記事

- 9・14 ④新文化『職業は忍者』（刊行記念イベント案内）  
 9・17 ④朝日新聞『白露戦争秘話 杉野はいずこ』、『実録証言 大刀洗さくら弾機事件』、『写真記録』これが公害だ』（著者追悼記事）  
 9・25 ④室蘭民報『北海道／地域産業と中小企業の未来』（著者談）  
 9・30 ④日本経済新聞『グローバル・ジハードのパラダイム』  
 9 月 ④歴史地理教育『実録証言 大刀洗さくら弾機事件』  
 9月号 ④暮らすめいと『飯田線ものがたり』（読者プレゼントあり）  
 ④熟年時代のニュースペーパーローズ『飯田線ものがたり』（読者プレゼントあり）  
 9／上 ④出版ニュース『スウェーデンが見えてくる』

- 10・1 ④Björk『スウェーデンが見えてくる』  
 10・5 ④タウンニュース（多摩版）『ギヴァー 記憶を注ぐ者』  
 10・19 ④東京新聞「筆洗」『グローバル・ジハードのパラダイム』  
 10・20 ④西多摩新聞『職業は忍者』（著者談）  
 10・23 ④日本教育新聞『デンマークの教育を支える「声の文化」』（大久保俊輝）  
 10・27 ④週刊ポスト『グローバル・ジハードのパラダイム』（山内昌之）▶P6再掲  
 10月号 ④鉄道ファン『飯田線ものがたり』  
 10／上 ④出版ニュース『新しい力』  
 11・19 ④毎日新聞（西部版）『実録証言 大刀洗さくら弾機事件』（著者追悼記事）



## 本を読む

## 飯田線ものがたり

新緑の写真を使った表紙に魅かれて購入しました。川村カネトの存在を初めて知りました。二人の著者が沿線を歩いて綴った物語に目をひられたと思います。近くを走る飯田線にこんな感涙のエピソードがあるとは……。自分も全94駅を踏破したい思いに駆られます。飯田線の素敵なガイドブックでもあります。本当によく調べ研究されているなあ。帯の言葉と写真のセンスも抜群にいい。口絵写真も気に入っています。著者の一人、神川さんの「飯田線の沿線を歩いて一番に感じたことは、人との出会いの素晴らしさ」という言葉に心を打たれます。それはまさに自分発見の旅とも言えるでしょう。川村カネトと天竜川の造った地形、そしてこの本との出会いに感謝です。

(長野県 公務員 安積重治 60歳)

## 実録証言 大刀洗さくら弾機事件

証言者が語るといふスタイルで書かれているが、描写は詳しく、当時の状況がよく伝わってくる。著者がいかに詳細に調査し、記録

したかがよくあらわれている。取材と執筆にどれだけの忍耐を要し、精魂を込めたことか。著者の凄さを垣間見る思いがする。筆の力の凄さとともに、生きるということを考えさせられた。(大阪市 澤伸子 61歳)

## スウェーデンの小学校社会科の教科書を読む

選挙権年齢が日本でも18歳に引き下げられましたが、投票しなければいけない理由も、投票したらどんな効果があるのかも、あまり理解できていないと思います。その中で、私自身スウェーデンの学校教育について驚いたことを整理したいと思い、買い求めました。社会人Ⅱ国民としての自覚と主体性をどう教えていくかを学びたいという希望に添えてくれました。

(秋田市 団体役員 渡部雅子)

## 好評刊

## 復刻版 きけ 小人物よ！

ウィルヘルム・ライヒ／片桐ユズル訳  
挿画42点・赤瀬川原平 二〇〇〇円

## スウェーデンの

## 小学校社会科の教科書を読む

(日本の大学生は何を感じたか)  
G・スバネリッド／鈴木賢志・明治大学国際日本学部鈴木ゼミ編訳 一八〇〇円

## スウェーデンが見えてくる

(「ヨーロッパの中の日本」)  
森元誠二 二四〇〇円

## 編集部から

林えいだいさんが亡くなられて四か月が経った。初めてお会いした二〇〇二年夏、林さんは膨大な資料と重いカメラを軽々と肩にかついで早稲田の坂を登ってこられた。「やあやあ、どうも、おしえわになります」。筑豊のアクセントの温かい響きが耳を離れない。全国を駆けめぐって取材をし、命を削って書きおえるや否や、次回作の構想に没頭した。最後に病床でお会いした折も、今度の新刊「関門港の女沖仲仕たち」について打ち合わせしたあと、「次のこと」を夢中で話された。谷中村の現在、福岡の風船爆弾、台湾統治の間。どれも林さんでなければ聞き出せなかった話ばかり。一冊でも多く世に出すことを新年の抱負とする。

## 営業部から

2016年12月・17年11月末(直近1年間)の都内主要書店の単品別売上をご紹介します。

書名	繁栄する大地主、衰退する大地主	医学部合格の秘訣【国公立編】	たった一つを覚えるだけ	スウェーデンの小学校社会科の教科書を読む	飯田線ものがたり	ハイン 地の果ての祭典	植民地化の歴史
書店名							
紀伊國屋書店新宿本店	37	23	29	18	12	49	21
ジュンク堂書店池袋本店	30	23	16	12	3	132	3
丸善丸の内本店	22	23	34	56	13	34	12
八重洲ブックセンター本店	21	13	5	2	35	26	3
三省堂書店神保町本店	16	14	7	14	3	37	7
MARUZEN & ジュンク堂書店渋谷店	18	10	3	4	3	5	3

## SBC(新評論ブッククラブ)のご案内

会員は送料無料！各種特典あり！お申し込みを！

当クラブ(一九九九年発足)は入会金・年会費なしで、会員の方々に弊社の出版活動内容を紹介する月刊PR誌「新評論」を定期的に送付しております。入会登録後、弊社商品に添付された読者アンケートハガキを累計5枚お送りいただくことで、全商品の中からご希望の本を1冊無料進呈する特典もございます。ご入会希望の方は小社HPフォームからお送りいただくか、メール、またはハガキにてお名前、郵便番号、ご住所、電話番号を明記のうえ、弊社宛にお申し込みください。折り返し、SBC発行の「入会確認証」をお送りいたします。